

地域を支える 変える 高知大

2024年 創立75周年

魚病被害なくしたい!

高知大学農林海洋科学部の今城雅之准教授(46)が研究するのは、ウイルスや細菌が原因で魚が発症する「魚病」。漁が始まったばかりのアユに加え、養殖魚にも被害をもたらすやっかいな存在だ。感染の仕組みや被害軽減への取り組みを聞いた。

人間は、ウイルスや細菌などの病原体が原因で感染症にかかります。それは魚も同じで、河川や海の中で感染症を発症します。目が届きづらい水中で進行するため、対応が遅れるのが問題です。高知でも全国と同じように悩まされています。

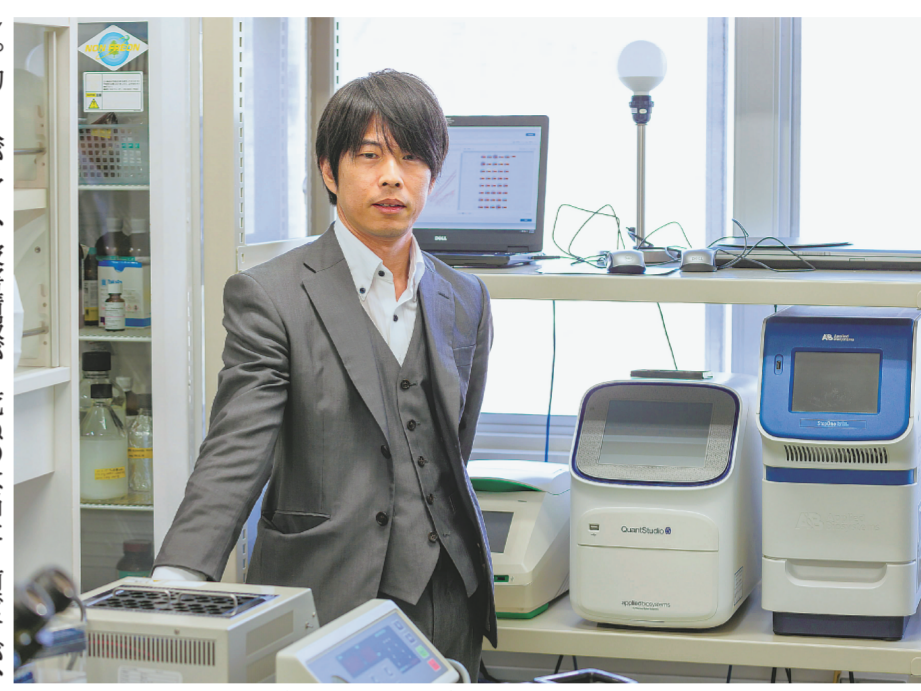
研究では、県内河川や海でのデータ採取を行います。新型コロナウイルスと同じようにPCR検査で水の中の病原体を探します。得られたデータを解析し、漁協や養殖業者さんに原因や対処法を知らせていきます。自称「魚の町医者」です。

■年200匹解剖

高知が全国に誇るアユも、細菌が原因の感染症「冷水病」が出ています。感染した琵琶湖産のアユが全国で放流され、1990年代には高知でも広がった。県内河川で大量死につながったことがあり、釣り人にもよく知られています。

冷水病の研究は2014年に始め、多い年は2千匹ほど解剖します。その中で、冷水病の感染サイクルも見えてきました。一般的に冷水病が問題になるのは5月ごろのアユ漁のシーズ

農林海洋科学部
今城雅之准教授



「データに基づく魚病対策が必要」と話す今城雅之准教授(南国市物部の物部キャンパス)

「魚の町医者」冷水病解析

釣りが多く、被害情報が集まりやすいんです。ところが調査では1月ごろ、河口近郊の産卵場には集まる多くのアユの間も残り続ける疑いがある。年々大量の菌が見つかりました。アユの寿命は1年。産卵場で

産卵場を通過。再び感染するというのが私の説です。つまり、遡上までの間に産卵場の菌を減らせば、翌年の感染を抑えられるかもしれない。今後、対策の一つとして提案できると期待しています。

■発生タイミング予測

海の魚では県内の養殖魚を対象にして、特に連鎖球菌症の研究と調査に力を入れています。これは魚の腸内細菌の一種が、腸管で爆発的に増えて発症します。ワクチンが2000年に開発され、一時期なくなった病気



研究室で培養された連鎖球菌。養殖魚の大敵だ(物部キャンパス)



冷水病にかかったアユ

多様なフィールドがあり、現場と近い高知大学はそれに最適な環境です。これからも地域に密着して、魚病の被害をなくすことが私の研究者としての使命です。



アユ漁解禁日の新莊川(須崎市上分内)2023年4月



物部川を泳ぐ若アユ(香美市土佐山田町=2020年5月)

【絶】 賛活動中

自然の中 生き物と出合い

かめイズム

私たち「かめイズム」は芸西村の琴ヶ浜を中心にウミガメの産卵上陸調査や研究活動を行っています。ウミガメの産卵は5~8月で、親亀は約100個、ピンポン球大の卵を産みます。私が代表をしていた昨年は、7、8回の上陸、2匹の産卵を確認。卵を数え、奇形の数などを記録しました。波がかる場所に産卵していると、安全な場所に移植しています。ウミガメとブラごみをテーマに、小学校で環境保全の出席授業も実施。大学祭ではミニ水族館を企画し、ハリセンボンやチ



琴ヶ浜で記念撮影するかめイズムメンバー(芸西村)

ヨウチヨウオなどの展示に子どもたちが目を輝かせてくれるのがうれしかったです。このほか、室戸沖の深海魚漁に同行させてもらったことも。自然豊かな高知で自由に活動することでさまざまな生き物と出

合うことができ、実りある日々を過ごしています。ツイッターで活動を発信しているので「かめイズム」で検索して、ぜひご覧ください。(松本涼楓=農林海洋科学部4年)

【推】 スポット 席

こだわりのとんこつ人気

らーめん食堂あぐら家



一番人気のとんこつラーメンをアピールする長崎幸広さん(高知市朝倉本町2丁目)

朝倉キャンパスを南に歩くと、住宅街の中に突然、ラーメン店ののぼりが現れます。朝倉横町に店を出していた長崎幸広さん(47)が、3年半前に建てた新居に移転開業。こだわりの詰まったお店で、多くの学生が通っています。みそ、背脂たっぷりのこつてりしょうゆ、豆乳ごまなどラーメン8種を提供。一番人気はスープに豚の大腿骨を使った「とんこつラーメン」(800円)です。長崎さんが500回以上の試作を重ね、「毎日食べられて、飽きの来ない味」を生み出しました。スープは濃厚ですが、後味すっきり。自家製の高菜や紅しょうが、にんにくは無料です。有料トッピングのおすすめは、唐辛子入りのたれを絡めた「辛もやし」(120円)。私好みの「味変。になり、さっぱり食べられます。高知市朝倉本町2丁目2の11、午前11時~午後2時45分と午後6時~9時半(ラストオーダーは30分前)、日曜定休、電話090・6286・8456。(森本倫=教育学部3年)